新聞購読の契約…目が不自由なのに…

Q. 昨日あいさつ回りだと言って訪問してきた新聞の勧誘員から「お米や洗剤をあげるから」などと言われて新聞の勧誘を受けた。目が弱く字が良く見えないのでと断ったにもかかわらず、色々言われ3ヶ月間の契約をすることになった。契約書には勧誘員が代わりにサインをした。その後、販売店からお礼の電話があったので、解約したいと申し出たら、勧誘員が再度訪問してきて「解約するとは何だ」と言われた。どうしたらよいか。(50歳代 女性)

A. ドアを開ける前に、訪問者や用件などをよく確認し、必要なければドアを開けないうちにきっぱり断ることが大切です。景品を置いていかれても、契約するつもりがない場合は、使用せずに返せるようにしておきましょう。相談者の場合、契約書面を受け取ってから8日以内であるのでクーリング・オフができることを説明し、手続きを伝えました。今後のトラブルをふせぐために、玄関先に「訪問販売お断り」のステッカーを貼って訪問を禁止することも有効ではと伝えました。

消費生活のご相談は

美幌町消費生活センター

電話・FAX 0152-72-0366

月～金曜日 10時～16時（年末年始・土日祝日を除く）